

留 学 報 告 書

記入日:2019年7月5日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: リヨン政治学院 現地言語: L'Institute d'Études Politiques
留学期間	2018年9月～2019年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月29日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月中旬～12月下旬 2学期:1月下旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	1400
創立年	1948

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学の為
宿舍費	404/月	52520円	
食費	300/月	39000円	
図書費	0	0円	
学用品費	20/月	2600円	
教養娯楽費	200/月	26000円	
被服費	50/月	6500円	
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:
渡航旅費	0	0円	
雑費	30/月	3900円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	60€	130520円	



渡航関連

渡航経路: 直行便

渡航費用

チケットの種類 オープンチケット

往路 _____

復路 _____

合計 マイレージ使用

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

特になし

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学の国際事務室からの斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

電子レンジがなく、その点は不便に感じた。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題はなかった。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

貴重品を入れる鞆はファスナーがついていて丈夫な作りのポシェットにする。携帯をコートのポケットではなくちゃんと鞆にしまうようにした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、カフェともに wifi は安定していた。フランスの携帯会社の sim カードを購入したが、電波が弱かった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本からデビットカードとクレジットカードをそれぞれ 1 枚ずつ持ってきた。親にはデビットカードに日本から毎月振り込んでもらっていた。公的扶助を受けるために現地の銀行でも口座を作った。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食、調味料、文房具

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
今のところ航空業界を志望しています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
日本にいた頃よりも一人での時間が圧倒的に増えたので、自分の将来についてよく考えるようになった。優秀な生徒が集まる学校に留学したため、年下の学生でも将来について考える人が多かった。留学生はほとんどが年上だったので、インターンシップや他の短期留学を経験している学生も多く刺激になり、学ぶことも多かった。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
20 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The US-UK Special Relationship	英米の特別な関係について
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Thierry Fortin
授業内容	戦後の英米外交について、「特別な関係」の形成に焦点を当てた授業だった。
試験・課題など	課題はなし。試験は2つの質問から好きな方を選んで、3～4ページのエッセイにまとめる。
感想を自由記入	履修している生徒も多かった為、授業形態は日本の大講義室で受けるような授業とあまり変わらない印象を受けた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Unification of Italy: a National or an International Event?	イタリアの統一
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Marcello De Caro
授業内容	イタリアの統一までの経緯、世界大戦中のファシズム政権そして今のイタリア政治に至るまで幅広く取り扱っていた。
試験・課題など	課題はないが、任意で授業で取り扱った人物を詳しく解説するパワーポイントを作って発表することもできた。試験は、授業で取り扱った沢山のポキャブラリーから3つ好きなものを選び、それについて解説するというものだったが、事前にテスト形式の発表はなく、勉強の仕方に困った。
感想を自由記入	唯一金曜日開講の授業だったからか、履修している人は少なかった。教授の明るい性格もあって、楽しく授業を受けることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
French Politics and Society	フランス政治と社会
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Alistair Cole
授業内容	フランス政治の歴史、フランスの今の政治・社会情勢についての解説
試験・課題など	課題はなし。試験内容は2つの質問から好きな方を選んで、3～4ページのエッセイにまとめる。
感想を自由記入	フランス政治についての知識は皆無だったので、理解するのに時間がかかった。しかし、政治への関心が高く、デモも頻繁に行われているフランスでは履修してよかった講義だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
European Imperialism in the 19th Century	19世紀ヨーロッパの帝国主義
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Martin Porter
授業内容	植民地支配の話がメインで、日本の黒船来航当たりの出来事も取り上げられていたので、非常に興味のある授業だった。先生の人柄の良さにも助けられた。
試験・課題など	課題はなし。試験は、事前に10個くらいの質問から一番興味のあるものを選んで、文章を考えておく。持ち込み禁止なのでしっかりキーワードとエッセイの構造を覚えておく。
感想を自由記入	フランスで授業を受けていると、日本が講義のトピックになることは少ないので、取り上げてくれるのは嬉しかった。しかし、せつかく取り上げてくれても、質問に上手く日本人として答えられないこともあり悔しい思いもした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
French Intensive Language Course Course (Beginner Level)	フランス語 語学授業
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が3回
担当教授	Dominique Drevet
授業内容	フランス語の初級レベルから教えて頂きました。
試験・課題など	毎授業後、宿題が出る。中間試験と期末試験あり。
感想を自由記入	何も話せない状態での渡仏だったため、この授業は本当に助かった。おかげで少しはフランス語が上達したのではないかと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Justice and Democracy in the Era of Globalization	正義と民主主義
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	クラスメイトのプレゼンを聞く(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Sophie PAPAETHYMIU
授業内容	ひたすら生徒のプレゼンを聞く授業だった。
試験・課題など	試験はなし。4人くらいのグループに分かれてプレゼンとレポートを作成して発表。
感想を自由記入	優秀なクラスメイトのプレゼンを聞くのは本当に参考になった。しかし自分がプレゼンを作って発表するのは初めてだったので、非常に苦戦した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Europe's Nuclear Independence	ヨーロッパの核問題について
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月～12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Thierry Fortin
授業内容	核問題についてフォーカスした授業だった。核兵器、原子力発電などもピックとして扱っていた。
試験・課題など	課題はなし。試験内容は2つの質問から好きな方を選んで、3～4ページのエッセイにまとめる。
感想を自由記入	同じ教授の授業は他にも一つ履修していたので授業内容に重複があったので授業の復習にもなった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Economic Crisis, Democratic Legitimacy and Institutional Confidence in Contemporary Democracies	経済危機、民主主義の正当性、現代の民主主義についての満足度について
科目設置学部・研究科	
履修期間	11,12月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Carlos GARCIA-RIVERO
授業内容	2ヶ月弱の短期授業だった。5,6人のグループに分かれて一週間に一つピックに沿ってプレゼンとレポートを完成させる。
試験・課題など	常にプレゼンの準備とレポート作成。最終レポートは倍以上の長さが必要だった。
感想を自由記入	一番つらい授業だった。こういった形式の授業を受けた経験がなく、非常に苦勞した2ヶ月だった。最後の方は、他の留学生も疲弊した様子だった。しかし一番努力した授業でもあり、終わった時の達成感は大きかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
A cultural history of Britain	イギリスの文化の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	1月~4月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Martin Porter
授業内容	20世紀イギリスの文化の歴史(映画や音楽とイギリスの政治を交えながら解説)、イギリスの歴代の大統領の説明
試験・課題など	期末試験(事前に質問が十数個発表され、当日は自分が選んだ質問に沿って回答用紙に回答)
感想を自由記入	先生がとても優しい方で、わからないところを丁寧に解説して下さいのが印象的だった。日本にいとこまで詳しくイギリスについて勉強することはないのでいい機会だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The United States Federalism viewed from the states	アメリカの連邦主義
科目設置学部・研究科	
履修期間	1月~4月
単位数	3ects
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Aurore PORET
授業内容	自分で好きな州の一つを選択し、その州について各授業で変わるピックに沿って調べる。
試験・課題など	毎週授業前にその週のピックで自分の担当する州についてリサーチして教授にメールで提出する。最後に自分の興味のあるその州の問題を取り上げてレポートを一つ作成する。グループに自分のレポートをシェアする。
感想を自由記入	アメリカの一つの州をこんなに調べることは今までなかったので、自分にとって新しい授業形態でした。他の州のことについても授業内で知る機会があったので、アメリカの州政策について知識を深めることができました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	1月：二次募集でリヨン政治学院への留学が決まる
4月～7月	7月頃：入学許可書が届く
8月～9月	8月：visaの取得 9月4日：渡仏 9月中旬：新学期
10月～12月	12月上旬～：期末試験
2019年 1月～3月	1月中旬：新学期
4月～7月	4月下旬～5月上旬：期末試験 5月29日帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	日本にいたころとは全く異なる生活環境に自分の身を置きたかったからです。幼少期に海外で生活していた経験があった為、海外で生活することに対しては抵抗はありませんでしたが、一人暮らしの経験は全くなかったため、不安はありました。また、海外で生活することで、現地にたくさん友人を作り、様々な価値観の人と出会うことで自分の視野を広げ、どのようなシチュエーションにも対応できる臨機応変さを身につけたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私の場合、フランスへの留学だったため、もっとフランス語を身に付けてから行けばよかったですと思います。フランス(パリ以外)はほとんど英語は通じないので、いくら英語が話せても日常生活ではあまり使うことはありません。日常会話レベル(店の人に注文する等)のフランス語は身に付けておくと苦労しないと思います。日本でもフランス語の資格を取得することは可能です。日本にいるうちに何かしらのフランス語資格に向けて勉強するのもアリだと思います。
この留学先を選んだ理由	1年生のころから第二外国語としてフランス語を取っていたこともあり、フランスに興味がありました。最初はいつか旅行で行ってみたいと思うくらいで、協定留学の選考で申し込んだのはすべてアメリカの大学でした。ところが、一次選考では希望していた学校はすべて落ちてしまい、二次選考で学校を選ぶことになった時にフランスもいいな、と思い申し込んだのがきっかけです。
大学・学生の雰囲気	私は通っていた学校はいわゆる総合大学ではなく、その上のグランゼコールだったので、生徒の質が非常に良かったと思います。勉強するときも、遊ぶ時も全力で切り替えがとても上手で勉強になりました。将来のこともしっかり考えていて相談に乗ってもらうこともありました。学校の規模が小さいので、知り合いができやすく、コミュニティーにも参加しやすかったです。
寮の雰囲気	寮のイベントは頻繁に行われていました。パーティーはもちろん、ヨガなどのスポーツを公園でやったこともあり、いいリフレッシュにもなりました。しかし、一人部屋だったこともあり、寮の人との交流は少なかった気がします。近所の部屋でよくパーティーが行われていました。ルームシェアがいいなと思ったこともありましたが、授業がきつくて精神的にやられているときは一人になる時間が欲しかったりもしたので良かったと思います。
交友関係	フランス語が一言も話せず、勇気もなかったため最初は友達もいませんでしたが、だんだんとコツを掴んで友だちを徐々に増やすことができました。グループワークを一緒にやったり、教室で隣になって仲良くなった子が多かったです。あとは、コミュニティーの中で、留学生と現地生でバディーを組むことができ、その子とはとてもいい友達になれました。
困ったこと、大変だったこと	やはりフランスで生活していてフランス語が話せないのは致命的でした。何をすることもフランス語しか基本的に通じないのである程度はしっかり勉強する必要があります。パリはまだ英語が通じたり英語表示があつたりしますが、リヨンではそうはいきませんでした。毎回翻訳アプリを使いながらの会話でした。あと、手続きは基本的に思い通りにいかないのが気長に待つのが吉です。
学習内容・勉強について	私は政治学に興味があったので、政治学のグランゼコールに留学しました。周りの留学生も現地生もレベルが非常に高くていっただけでも必死でした。最初の学期は特に余裕がなく、毎日夜遅くまで課題をやりほぼ毎日1限がある生活を送っていました。体力的にも精神的にもハードな日々でした。授業は日本のような講義形式の授業とディスカッションやプレゼンをメインでやる授業が半々でした。
課題・試験について	普通の授業はそれほど課題は多くはないのですが、プレゼン前や短期集中型の特別講義があると一気に課題が増えるので、計画的に勉強を進めていくことが本当に大事だと思いました。期末試験は事前に問題を発表してくれる教授もいるので情報の聞き逃しはしないように慎重になる必要があると思います。

大学外の活動について	日本人の小中学生の子が通う補習校でのボランティアをしたり、日本人の家族にベビーシッターをしに行ったりと子供と関わるお手伝いをさせていただくことが多かったです。また、ダンスのワークショップに通ってフランス語に慣れる訓練もしました。ダンスでストレス発散もできたので良かったと思います。
留学を志す人へ	日本についての知識を増やしておいてください。歴史、政治、文化など何でもいいです。自国をプレゼンする能力は留学において必要不可欠だと思います。授業内では必ず比較として聞かれるし、日常生活では日本食をふるまったりもするかもしれません。是非日本に詳しくなってから留学してみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業				
	授業	授業		授業		週末で旅行することも	ダンス、散歩など
午後		授業				フランス国内やイタリア、スイスなど	
		授業	授業	授業	授業		
夕刻	授業		授業				
夜	勉強	友人と夕ご飯	パーティーなど				

